

一球入魂

ジャッジ

幸田町ソフトボール協会

審判部



ソフトボール協会会長
小山中義氏
こやま ただよし

ソフトボール協会の歴史は、昭和54年に地域で楽しんでいた人の気運が高まり、前身である連盟が設立され、町の「健康の町幸田」宣言に即応し、今日の協会に至っています。ソフトボール協会には、審判部と記録部があり、各大会を運営しています。



審判部部長
岡本 雅敏氏
おかの や まさとし

町ソフトボール協会加入チームには、必ず公認審判員が2人以上在籍しています。審判員は冬の寒い時から、講習会を開き、練習を重ね、正確な判定が出来るよう、全員で頑張っています。正確な判定が出来て当たり前、ミスすれば試合をぶち壊します。厳しくもあり、やりがいのある役目です。審判に興味のある人を、募集しています。



判定はストライク？ ボール？



ストライクゾーンの確認（審判講習会）

審判コンテスト大会

審判の基本動作である「ゴロ、ストップ、ルック、ジャッジ」の正確な審判技術を競う大会です。全国では唯一、西三河支部で開催され、幸田町チームが見事優勝しました。

登録審判員

審判員は、協会をはじめ学校・地域団体の大会で活動しています。

- 登録公認審判員 65人
- 第一種（全国大会） 13人
- 第二種（県大会） 24人
- 第三種（地区大会） 28人

もっと身近な議会に

住民の **声** を聞く

パート **20**

プレーボール 楽しみながら



整列し試合開始を宣言（協会トーナメント大会）

記録部は、県大会以上の大会で、試合のプレー内容を正確に記録しており、新聞などで報道される試合結果は、記録員の作成したスコアカードによるものです。

記録部長
藤井 泰次氏



- 協会リーグ戦・トーナメント大会
- 町子ども会連絡協議会大会
- 町レディースカップ大会
- 県中学生女子新人三河大会
- 東海高等学校総合体育大会
- 東海地区大学女子リーグ戦
- 日本女子中日本リーグ戦大会
- 県協会理事長杯大会西三河予選

主な活動



ヒットか ホームランか（町内子ども会大会）

アンケート結果

議会だより

1. 読んでいますか
 - 毎号読む 7人
 - 時々読む 8人
 - 読んでない 6人
2. 興味のある内容
 - 町づくり、再開発、道路整備
 - 予算審議、福祉関係
3. もっと読んでもらうには
 - 身近な問題を多くしてほしい
 - 目玉になる項目を大きな字と写真で

議会・行政(町)に望むこと

- 未来に希望の持てる町づくり
- 子どもたちの環境向上
- 幸田駅周りの道路整備を早くしてほしい
- 新規企業・大手企業の誘致
- 各種団体に助成金の増額をしてほしい

ソフトボール審判員に聞く

1. やりがいは
 - 子どもたちに喜ばれること
 - ジャッジの瞬間全ての視線が自分に集中する
 - 公的（小中学校・高校・大学）な大会で審判できること
2. 審判活動で思うこと
 - 地域への貢献が出来ていること
 - 礼儀や姿勢、コミュニケーションの勉強になる
 - ソフトボールがもっと盛んになってほしい
3. うれしかったこと
 - 小中学生の笑顔
 - 試合を終えた後の充実感
 - きわどい判定を納得してもらった時
4. つらかったこと
 - 夏の暑さ、冬の寒さがつらい
 - 判定が理解されなかった時
 - チームからのクレーム、観客の暴言

本稿の編集にご協力いただきお礼申し上げます。みなさんの活躍を期待します。